

かすみがうら 市議会だより

目次 CONTENTS

No.82

令和7年第2回定例会を行いました

- P2 令和7年第2回定例会提出議案
- P3 議案審査特別委員会議案質疑
- P4 委員会活動
- P5-7 一般質問

コラム

- P8 議会日誌・編集後記

市議会だよりは、
ホームページでも
ご覧になれます。



▲水田で翼を休めるコウノトリ（かすみがうら市安飾地内）



令和7年第2回定例会議案等議決結果一覧

令和7年第2回定例会が6月3日から6月17日までの15日間で開催され、議案8件、承認3件を慎重に審議しました。



議案の内容等
詳細はこちら

番 号	件 名	議決結果
議案 第56号	令和7年度かすみがうら市一般会計補正予算（第1号）	原案可決 （全会一致）
議案 第57号	財産の貸付けについて	原案可決 （全会一致）
議案 第59号	市道路線の認定について	原案可決 （全会一致）
議案 第60号	かすみがうら市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 （全会一致）
議案 第61号	令和7年度かすみがうら市一般会計補正予算（第2号）	原案可決 （全会一致）
議案 第62号	消防団ポンプ自動車の取得について	原案可決 （全会一致）
議案 第63号	かすみがうら市教育委員会委員の任命について	同意 （全会一致）
承認 第1号	専決処分事項の承認を求めることについて（かすみがうら市行政組織条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例）	承認 （全会一致）
承認 第2号	専決処分事項の承認を求めることについて（かすみがうら市税条例の一部を改正する条例）	承認 （全会一致）

賛否が分かれた議案等

番 号	氏 名	井 出	塚 本	鈴木	石 澤	服 部	鈴木	櫻 井	久 松	小 倉	櫻 井	設 楽	来 栖	岡 崎	小 座 野	佐 藤	矢 口	議決結果
	件 名	有 史	直 樹	更 司	正 広	栄 一	貞 行	健 一	公 生	博	繁 行	健 夫	丈 治	勉	定 信	文 雄	龍 人	
議案 第58号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	-	○	○	○	○	原案可決 （賛成多数）
承認 第3号	専決処分事項の承認を求めることについて（かすみがうら市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	-	○	○	◆	○	承認 （賛成多数）

賛成は○、反対は◆、欠席は欠、不在は／、除斥は除、表決権を行使しない場合は棄で記載

※来栖議員は議長職のため、原則として表決に加わりませんので「-」と記載しています。ただし、賛否が同数となった場合は、議長も表決に加わります。

【選挙案件】

選挙 第4号	かすみがうら市選挙管理委員会委員及び 同補充員の選挙	当 選	【選挙管理委員】 福 田 與兵衛 畑 山 尚 弘 高 野 文 江子 富 田 恵 子	【選挙管理委員補充員】 久保田 裕 文 貝 塚 久美子 齋 藤 正 通 久保田 淳 子
-----------	-------------------------------	--------	---	---

自治功勞により表彰

この度、小座野定信議員が2年にわたり議長として地方自治発展と市政の振興に貢献された功績により、茨城県市議会議長会から感謝状が贈られました。

また、3名の議員が10年にわたり議員として市政の振興に貢献された功績により、全国市議会議長会から表彰状が贈られました。

櫻 井 繁 行
小 座 野 定 信
来 栖 丈 治
設 楽 健 夫

▶ 右から



●茨城県市議会議長会●

議長職2年
小座野 定信

●全国市議会議長会●

議員在職10年
来栖 丈治
設楽 健夫
櫻井 繁行

令和7年第2回定例会 議案審査特別委員会における主な議案質疑

(6月4日開催)

議案審査特別委員会は議長を除く15名の委員で構成。

議案第56号 令和7年度かすみがうら市一般会計補正予算（第1号）

【議案の概要】

歳入歳出予算の総額に、それぞれ3億7783万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ187億225万9千円とするものです。

Q 歳出における主なものは何か。また、財源の補助はあるのか。

A 地域農業を支えるため、JA水郷つくばの所有する既存の梨の選果施設を再編集約・合理化して整備を行う事業への補助金である、園芸振興に要する経費1億9509万8千円ですが、国及び県から同額の歳入があるものです。また、定額減税の不足額給付に係るシステム改修や関係通知代、管理業務の委託、補足調整給付金（不足額給付金）の合計を計上した、定額減税・調整給付に要する経費1億6647万1千円ですが、こちらも物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金として同額の国庫補助金があるものです。

Q ふるさと納税返礼品開発支援補助金300万円の支出について、支援依頼の件数は。また、費用対効果についてはどう考えているのか。

A 現在9件ほど相談をいただいております。この制度につきましては、返礼品の商品開発、パッケージの作成といった費用に対して、消耗品や委託料、原材料等で補助率4分の3で実施しております。開発ができて商品化となり、ふるさと納税にラインナップはされるのですが、すぐに効果が表れるとは思いませんが、商品数を多くしまして、納税額の増加につなげていきたいと考えておりますので、推進していきたいと思っております。

Q 生成AIパイロット校事業委託金で263万1千円の歳入だが、生成AIを活用することで、子どもたちの教育環境についてこういったところを目指していくのか。

A 小・中9年間を通じまして情報活用能力を段階的に、系統的に育成していくという目標を立てております。子どもたちにまずは基本的な情報機器の利用の操作方法や、情報を正しく活用する情報リテラシー、ICTリテラシーも育成していこうと考えております。全国的には事例は出てきていますが、色々な教育現場の活用方法をモデル的に実践して、事例を出していくということで、校務の負担軽減や、子どもたちも、自分たちで調査研究をする上の取りまとめ等を生成AIに投げかけ、たたき台をつくってまとめていくといったノウハウを蓄積、育成していくというふうに考えております。

総務経済委員会

○閉会中に行われた委員会

令和7年5月21日開催の調査内容

- 旧牛渡小学校の追加貸付について（敷地内施設全域）
- 産業用地整備に向けた適地選定調査の結果について（向原西地区・天神東地区）
- デマンド型乗合タクシー及び千代田神立ラインに係る意見公募の結果について
- （仮称）国道354号（かすみがうら市・行方市・銚田市）整備促進期成同盟会の設立について
- 逆西排水区・下原排水区の雨水排水対策調査及び現況調査結果について
- かすみがうら市消防庁舎等の整備について
- かすみがうら市特別救助隊救助訓練観閲について

○委員会付託案件の審査等

令和7年6月3日の審査内容

- 議案第58号
市道路線の認定について
（市道8―29338号線
稲吉東地内）
- 議案第59号
市道路線の認定について
（市道8―29339号線
下稲吉地内）



▲市道認定箇所の現地調査
（稲吉東地内）

令和7年6月12日の審査内容等

- 議案第58号に係る発言の訂正について
- 議案第58号 市道路線の認定についての再審査

○閉会中に行われた委員会

令和7年6月26日、27日開催の調査内容

視察研修

- まると農地中間管理方式について【京都府亀岡市】

農地の集積・集約化の先進事例を視察し、持続可能な農業のための手段を調査しました。



▲馬路生涯学習センターでの視察の様子

- ホステルインの運営実態について【京都府京都市】

本市農村環境改善センターの民間活用形態「ホステルイン」と同種の施設を視察し、運営の手法を調査しました。



▲ホステルイン
京都祇園にて

Point!

議案第58号再審査の経過・結果

議案第58号で審議した市道8―29339号線は、6月3日の審査では、開発行為から30年以上が経過し、劣化が進んでいること等から、このまま市に帰属し、修繕費用を負担するのは不適切ではないか等の意見があり、賛成者なしで可決しないものと決定しました。

しかし、執行部より道路用地として市に帰属する旨の説明が不足していたことから、6月12日に訂正があり、再審査することになりました。

同日の再審査の結果、都市計画法に基づいた開発であり、既に市に帰属されていることや、現にアパートや住宅の進入路であることから、道路用地として市が管理すべきものとし、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

再審査とは何かについては、本誌8ページの豆辞典をご覧ください。

文教厚生委員会

○閉会中に行われた委員会

令和7年5月20日開催の調査内容

- 第2常陸野公園活用事業に係る公有財産賃貸借契約の解除について
- 石岡地方斎場組合と湖北環境衛生組合の統合について
- 「ヤングケアラー」に関するアンケート結果について
- 市立保育所運営計画の進捗について



▲説明を受ける委員
（千代田庁舎委員会室）

令和7年7月7日、8日開催の調査内容

視察研修

- 自主防災訓練支援の取組について【愛知県豊田市】



▲豊田市議会議場にて

自主防災組織による訓練への支援の先進事例を視察し、防災意識向上のためのあり方を調査しました。



▲豊田市生涯学習センター「パルクとよた」にて

児童生徒への不登校対策等における先進事例を視察し、自立支援体制強化への参考としました。

- パルクはあとラウンジによる自立支援の取組について【愛知県豊田市】

一般質問

鈴木 更司 議員



Q 取りやめている火災発生時の防災無線放送について伺う

A 当面は現状の運用を継続します

Q 災害や緊急時などで、住民への呼びかけに対して非常に有効な手段の一つである防災無線業務ですが、火災現場等で放送再開の要望を数多く耳にします。放送再開について検討がなされているか、また、再開が可能か伺います。

A 消防長 火災発生に関する現在の運用は試行的なものです。消防本部には、放送再開を求めるようなご要望は特にありません。一方で、ご近所に消防車や救急車が集まった場合など、情報を必要とする方もいますので、災害情報テレホンサービスや市消防本部のホームページで、火災や事故の発生状況をお知らせしております。現在は、人員を火災等の災害対応に充てることを優先している実情があり、今後の運用について引き続き検討するとともに、当面は災害情報等を知る方法の周知に努めてまいります。

Q 消防組織力の向上を目指すガイドラインで、ハード面、ソフト面で取り組む具体的な内容を伺います。

A 消防長 施設と水利がハード、人員がソフトに分類することができます。施設のうち、消防本部や消防署の建物や主な附帯設備は、老朽化が著しく、多様化する災害や増大する消防需要、職員の働き方改革などに対応しきれないため、消防庁舎等整備基本計画を策定し、設計業務を進めています。ソフト面の取組は、良好な職場環境や職員の健康維持が基本であるため、職員間のコミュニケーションが果たす役割が大きいことから、各所属の管理職自身がコミュニケーション能力を高めることが必要であり、職員に寄り添いながら意思疎通に努めております。

質問通告事項

- 1 消防組織力の向上を目指すガイドライン人材マネジメント推進計画について
- 2 火災発生時の防災無線放送について



佐藤 文雄 議員



Q 学校給食無償化や補聴器購入助成に係る請願採択に対する市長の基本的認識について伺う

A 採択された請願は非常に重いものと認識しております

Q これまで、学校給食無償化や高齢者への補聴器購入助成について、議会では全会一致で採択されました。採択された請願に対する、市長の基本的認識を伺います。

A 市長 令和5年第4回市議会定例会では「小中学校の学校給食無償化、地場産・有機食材の拡充を求める請願」が、全会一致で採択されました。加齢性難聴者の補助器購入助成については、実施に向けて検討してまいります。採択された請願は、非常に重いものと認識しております。

Q 子どもの不登校は、小中学校で34万人を超えました。不登校の問題の解決には、子どもの気持ちを大切にしながら取り組むことが必要と考えますが、本市の対応について伺います。

A 教育長 本市の小中義務教育学校における不登校児童・生徒数は、令和7年3月末現在で、小学校が28名、中学校が71名で、合計99名となっています。子ども本人の成長にとって何が大切なのかを見極めながら、保護者と連携を図り、対応に係る取組を継続的に実施し、不登校児童・生徒の復帰支援、不登校の未然防止となるよう努めてまいりたいと思います。

質問通告事項

- 1 学校給食費無償化や補聴器購入助成に係る請願採択に対する市長の基本的認識について
- 2 住宅リフォーム助成の減額について
- 3 水道事業の広域化について
- 4 不登校問題への対応について
- 5 入札制度の改革について



議員 健夫 設楽



Q 本市の水田稲作政策の現状と課題を伺う

A 農家の耕作面積拡大を図ってまいります

AQ かすみがうら市水田稲作政策の現状と課題を伺う。
産業経済部長 令和6年度農家戸数は1357戸、耕作面積は1122ヘクタールで、5年間で227戸、77ヘクタール減少です。耕作面積2ヘクタール未満の農家が1250戸で、全体の92%です。認定農業者は76戸、耕作面積が539.4ヘクタールで、平均年齢は64.9歳と、高齢化が顕著です。担い手育成に、安定収益・耕作地の大規模・集約化が求められ、効率化へICTやロボット技術の活用等スマート農業の導入、多収量品種の導入が有効です。農地のマッチング作業を進め、耕作面積拡大を図ります。10年後耕作意向の農地面積合計は、463ヘクタールです。農地の集約化、大規模化の推進には、農作業効率化による農業機械の大型化、農道の幅員確保が必要となり、再整備に当たり土地改良区、国、県、関係機関との協議・調整を行ってまいります。土地改良区連絡協議会が担う出島用水は、旧出島土地改良区のエリアのほか、一の瀬川や菱木川流域の稲作栽培に重要な経営水源となっています。

Q 公民館役員や支館役員へ名称を改めたコミュニティ推進委員の委嘱状はどのように発行されているのか伺う。

A 教育部長 社会教育法で、公民館は「市町村が設置する」とされています。委嘱状は支館の役員に交付され、公民館の役員には未交付と、齟齬が生じておりますので、委嘱状交付を進めます。

Q 撤回されたサムライミュージアム関連予算及び学芸員が1名減の2名となった異動後の歴史博物館の運営について伺う。

A 教育部長 本館事務室は、展示の拡充のため使用します。学芸員は、水戸市に次ぐ業務量となる埋蔵文化財の試掘も担う学芸員の資格所有者が対応しており、学芸員の資格を有する職員の育成が必要です。近隣の学芸員の配置状況は石岡市が5名、土浦市が13名です。今年度は、土浦市と行方市が帆引き船無形民俗文化財指定の年度内の指定を目指し手続を進めております。令和8年度には、茨城県無形民俗文化財指定申請に向け、3市連携して進めてまいります。

質問通告事項

321 かすみがうら市水田稲作政策の現状と課題について
コミュニティセンターにおける公民館の位置と課題について
撤回されたサムライミュージアム関連予算及び学芸員
異動後の歴史博物館の運営における現状と課題について



議員 正広 石澤



Q かすみがうら市子ども計画の基本方針について伺う

A ライフステージごとの伴走型子育て支援により保護者への支援をしてまいります

AQ かすみがうら市子ども計画の基本理念と基本方針について伺います。

A 保健福祉部長 基本理念を具体化するため、基本理念と国の指針、計画などを踏まえ、3つの基本方針を設定しております。基本方針1、こども・若者が希望を持って成長できる環境を創ります。基本方針2、こども・若者の育ちの場となる家庭や地域を支えます。基本方針3、こども・若者の成長と学びを支援します。この方針を踏まえて、妊娠から出産期、未就学期、就学期の小学校、中学校、高等学校、最後に青年期として、ライフステージごとの伴走型子育て支援により、子育ての家庭が安心して出産、子育てができるよう保護者への支援をしてまいります。

Q ごみ収集に基大な被害をもたらしかねないリチウムイオン電池の火災について、本市の回収方法を伺います。また、ごみを出す側の意識の醸成も必要になってくると思うので、広報に努められたいと思います。いかがでしょうか伺います。

A 市民部長 本市の電池回収につきましては、分別回収しております。また、回収方法につきましては、集積所によるステーション回収と市内公共施設での拠点回収を併用し、住民の利便性向上に努めることで火災リスクの低減を図っております。また、ご質問のとおり危険性をご理解いただいた上で分別いただくことが大切になってまいりますので、今後広報誌、ホームページなどで改めて拠点回収場所などの周知を図ってまいりますと考えます。

質問通告事項

21 かすみがうら市子ども計画の詳細について
かすみがうら市環境基本計画の基本目標について



32 大規模改修について
多目的運動広場の照明について
下水道の現状と将来の展望について

1 霞ヶ浦コミュニティセンター（旧あじさい館）の
大規模改修について

質問通告事項



映像は
こちらから
ご覧ください



▲霞ヶ浦コミュニティセンター

Q 芝生広場にありますが屋外トイレですが、今回霞ヶ浦コミュニティセンターの中が改修工事に入りますので、室内のトイレが使用できなくなることを考え、早急に屋外トイレの洋式化をする必要があると考えますが、今後の対応について伺います。

A 市民部長 昨年隣接する休憩棟のうちのトイレに電源コンセントを設置しており、一部を近々洋式の暖房便座に変更する予定です。

Q 図書館の休館期間はどのくらいを予定しておりますでしょうか伺います。

A 市民部長 第1ブロックの工事完了後、書棚を設置し、一部の図書を移動するなどの作業を行うため、約1か月の休館を経て臨時図書館を開館する予定です。

Q 図書館の休館期間はどのくらいを予定しておりますでしょうか伺います。

A 市民部長 第1ブロックの工事完了後、書棚を設置し、一部の図書を移動するなどの作業を行うため、約1か月の休館を経て臨時図書館を開館する予定です。

塚本 直樹 議員



Q 霞ヶ浦コミュニティセンター（旧あじさい館）の大規模改修について伺う

A 工事期間は12か月（約1年）です

Q 霞ヶ浦コミュニティセンターの施設を2ブロックから3ブロック程度に分けて工事を進めるとのことですが、部屋によって工期に違いがあるのでしょうか伺います。

A 市民部長 工事につきましては、施設を3つのブロックに分け分割して行う予定です。まずは、臨時図書館として使用予定の会議室1と2を含む建屋東側半分の第1ブロックと、ホールやトレーニング室、集会室などを含む東側残り半分の第2ブロックから着工し、続いて、現図書館を含む西側半分の第3ブロックという順序で工事を進めてまいります。工期につきましては、第1ブロックは4か月程度、第2ブロックは10か月程度、第3ブロックは5か月程度を要するものと考えており、全体で約12か月間を見込んでおります。

櫻井 繁行 議員



Q 令和7年度の地域移行に向けた取組について伺う

A 本年度の地域クラブ活動は、新たに8団体が加わり、14団体に実施しております

Q 令和7年度の地域移行に向けた取組、計画について伺います。

A 教育長 本年度の地域クラブ活動につきましては、令和6年度に活動している6団体に加え、令和7年度には新たに8団体が加わり、14団体に実施しているところです。また、地域クラブ活動に参加している7、8、9年生の生徒数につきましては、本年5月1日現在で、7年生が68名、8年生が74名、9年生が98名の合わせて240名の生徒が参加している状況になります。しながら、令和7年度に参加している地域クラブ活動については、運動部のみの参加となっており、令和8年度に向けましては、運動部の加入促進はもちろんのこと、文化芸術部につきましても、中学校、義務教育学校に参加を進めるべく積極的に協議してまいりたいと考えております。

Q 庁舎間の連携を含む本市のDX進捗状況について伺います。

A 総務企画部長 まず、自治体DXにより期待される効果ですが、行政側といたしましては業務の効率化、迅速化、正確性の向上が見込まれ、住民の皆様側としては利便性、満足度の向上等が挙げられます。国の自治体DX推進計画のうち、重点取組事項として7項目があります。それぞれの項目ごとに達成、非達成を積み上げていきますと、全7項目全てにおいて達成している状況と考えております。ただし、7項目全て達成したと申ししましても、技術の発展や新しい仕組みの開発、それから国の施策の方向性など、そもそも年々変化していくものですので、それらを踏まえまして、今後とも市民の皆様の利便性を第一に考慮して、市役所の業務の効率化の向上と併せまして、より一層自治体のDX化を推進してまいりたいと考えております。

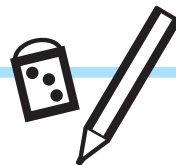
321 学校部活動の地域移行に向けた取組状況について
自治体DXの推進について
地域おこし協力隊の取組について

質問通告事項



映像は
こちらから
ご覧ください





傍聴や会議映像の視聴ができます

千代田庁舎の3階には、かすみがうら市議会議場があります。議場では、本会議が行われるほか、令和6年には初の「高校生議会」も行われました。定例会や臨時会は、議場で傍聴することができます。会議のある当日の午前9時より受付しておりますので、ぜひお越しください。

また、市議会ホームページでは、本会議の生中継や録画映像、会議録など、市議会の情報を多数発信しております。本ページ右下のQRコードからもアクセスできますので、ぜひご利用ください。



▲令和6年高校生議会の様子

5月

- 1日 議会だより編集特別委員会
- 12日 議会運営委員会
- 20日 文教厚生委員会
- 21日 総務経済委員会
- 27日 議会運営委員会
- 全員協議会

6月

- 3日～17日 令和7年第2回定例会
- 3日 議会運営委員会
- 全員協議会
- 議案審査特別委員会
- 総務経済委員会
- 文教厚生委員会
- 議案審査特別委員会

- 4日 議案審査特別委員会
- 12日 総務経済委員会
- 17日 議会運営委員会
- 全員協議会
- 26日～27日 総務経済委員会視察研修

7月

- 7日～8日 文教厚生委員会視察研修
- 9日 令和7年第1回湖北環境衛生組合議会臨時会
- 25日 議会だより編集特別委員会
- 28日 令和7年第1回茨城県後期高齢者医療広域連合議会臨時会

令和7年第2回定例会の議場での傍聴者数は、延べ45名、また、インターネットLIVE中継へのアクセス数は、延べ558回でした。



再審査とは？

豆辞典

議会の委員会に付託された事件等について、委員会は同一会期中は一度議決等の決定をした後に再び審査を行うことができます（一事不再議の原則）。しかし、その議決がまだ本会議の議題となる前、誤りや不足を発見し、修正する必要があると認めるとき、その決定を取り消し、委員会によって自主的に審査をやり直すことを、委員会の「再審査」といいます。

令和7年第2回定例会において総務経済委員会に付託された議案第58号の今回の取扱いが、この「再審査」の運用に当たります。

総務経済委員会における再審査の経過・結果については本誌4ページをご覧ください。

【参考】地方議会運営辞典

編集後記

残暑の厳しい8月末、夕暮れ時に吹く涼風が心地よい季節の移ろいを感じさせてくれます。市内各地では夏祭りの余韻が残り、半纏姿で祭礼を楽しむ人々の笑顔が夏の彩りを添えてくれました。一方で連日の猛暑は体力を奪い、熱中症の備えが欠かせません。かすみがうら市では、市役所庁舎や各コミュニティセンター等でクーリングシエーター（涼み処）を設けておりますので、体調に不安を感じたときはお気軽にご利用ください。昨今の異常気象に備え、市議会としてもより一層の安心安全な環境づくりに努めてまいります。

議会だより編集副委員長 井出 有史

ご意見をお寄せ下さい

